

2011.7.2

今最も注目されている演奏家達を聴く

プログラム

近年、新しい優れた演奏家が次々と登場していますが、昔のような正規録音が豊富だった時代とは違って、現在、これらの演奏家に接する機会が極端に少なくなっています。そこで今日は今、最も注目されている演奏家、今後の活躍が期待される演奏家を集めてお聴きいただきたいと思います。

ピアノのアヴデーエワは1985年モスクワ生まれ。昨年の第16回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝し、今後が最も期待される若手ピアニストのひとりです。アヴデーエワより更に2歳若いユジャ・ワンは1987年北京生まれ。優れた技巧と鋭い感性の持ち主で、既に最も重要な若手ピアニストのひとりに数えられています。キリル・ペトレンコは1972年シベリア、オムスク生まれのロシアの指揮者ですが、早くにオーストリアに移住し、同地でオペラ指揮者としてのキャリアを積み、2013年シーズンからはバイエルン州立歌劇場の音楽監督の就任が決まるなど、今後目の離せない存在になってきました。ヴァイオリンのルノー・カプソンは1976年フランス、シャンペリ生まれ。アルゲリッチに認められ音楽家としてのキャリアをスタートさせましたが、現在最も油の乗っているヴァイオリニストのひとりでしょう。ヤニック・ネゼ＝セガンは1975年モントリオール生まれのカナダの指揮者で、2008年ザルツブルクでグノーの「ロメオとジュリエット」を指揮して以降、ウィーン・フィルやベルリン・フィル、メトロポリタン歌劇場等に次々とデビュー、2012年のシーズンからは、名門フィラデルフィア管弦楽団の音楽監督就任が決まるなど、今最も注目されている指揮者のひとりです。

今日は最新の音楽界地図を眺めるような気分でお楽しみください。

フレデリック・ショパン (1810~1849):

ピアノ・ソナタ第2番変ロ短調 op.35 ~ 第1楽章、第3楽章、第4楽章

ユリアーナ・アヴデーエワ (ピアノ)

(2011.1.23 オーチャードホールでのLive)

モーリス・ラヴェル (1875~1937):

ラ・ヴァルス

ユジャ・ワン (ピアノ)

(2008.7.29 スイス、サル・メドランでのLive ヴェルビエ音楽祭から)

レオシュ・ヤナーチェク (1854~1928):

シンフォニエッタ ~ 抜粋

キリル・ペトレンコ指揮ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団

(2008.6.20 ライプツィヒ、新ゲヴァントハウスでのLive)

*** 休憩 ***

ロベルト・シューマン (1810~1856):

ヴァイオリン・ソナタ第1番イ短調 op.105

ルノー・カプソン(ヴァイオリン) / マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)

(2010.6. ルガーノ音楽祭でのLive)

アントン・ブルックナー (1824~1896):

交響曲第7番ホ長調 ~ 第1楽章から、第2楽章から、第4楽章

ヤニック・ネゼ＝セガン指揮ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団

(2009.2.11 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)